

ぶらりたび

変化に富む熊野古道 海南駅～紀伊宮原駅



燕坂塔下王子を過ぎると長い下り。有田の街と港を望む



和歌山県海南市のJRきのくに線海南駅から、有田市の紀伊宮原駅までの「熊野古道」を歩く。王子（沿道の社）をたどりながら南進し、山道や農道、峠越え、みかん畑と変化に富む14キロ弱・5時間コースだ。随所に「熊野古道」の提灯が掲げられ、案内板も充実している。



一壺王子跡 現在は山路王子神社。秋祭に小児の健康を願う「泣き相撲」を奉納

熊野古道の藤白坂 ▼丁石地蔵 藤白坂には峠まで一丁（約109m）毎に地蔵が計17体



七丁目の地蔵さん



鈴木屋敷 藤白神社の境内に復元され公開されている



くまの古道民俗資料館 1201年10月5～26日に行われた後鳥羽上皇の熊野御幸に随行した藤原定家（新古今集選者の一人）の旅日記を解説し展示している／JR紀伊宮原駅から徒歩約20分、糸我稲荷神社隣／9時30分～17時（最終入館16時30分）／水曜、木曜、年末年始休館／無料

和歌山・奈良・三重の3県にまたがる3つの霊場（吉野・大峰、熊野三山、高野山）とその参詣道が04年、ユネスコの世界文化遺産に登録された。その中の熊野三山への参詣道

が熊野古道だ。まずは海南駅から藤白神社へ。境内に、全国で約178万人といわれる鈴木姓のルーツと伝わる「鈴木屋敷」が23年に復元された。「鈴木氏」は熊野旧三家の豪族の一つで、平安時代中期から後期

にかけて、熊野から現在の海南市に移り住み122代続いた。最初の難所、藤白坂の急登を登りきると「峠の地蔵さん」を祀る地藏峰寺。寺の隣には藤白塔下王子跡。神社北の「六本樹の丘」

は橋が日本で最初に植えられ、日本のみかん発祥の地とされる。押ノ峠を越え紀伊宮原駅まではみかん畑の中をひたすら下る。有田川を渡ると中将姫ゆかりの得生寺やくまの古道民俗資料館があり、熊野古道は南に続く。

